



# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第112号  
令和7年3月12日

## 麗しき原風景を子どもたちへ

校長 諸橋 智

昨夏のことになります。デビュー45周年を迎えたサザンオールスターズが、10年ぶりに生まれ故郷茅ヶ崎でライブを行いました。この年、連続リリースした新曲の一つ「歌えニッポンの空」に次のフレーズがあります。

♪騒ぐ潮風に乗って 『浜降り』の音が あゝ響くところ ここで生まれて育って 夢見ることを学んだ ここが故郷…♪、エンディングでは ♪麗しMy Hometown♪と歌い上げます。

45年間もの間、自分らしさを貫き更新し続けた桑田佳祐さん。あるインタビューの中で、「茅ヶ崎で生まれ育っていなかったら、今の自分たちはなかった。今でも心に浮かぶ茅ヶ崎の『原風景』をこの楽曲に織り込んだ。」と、郷愁とともに感謝の思いを語っています。

さて、45年後に「原風景」となるしも町は、今子どもたちの目にどのように映っているのでしょうか。6年生しも町学のまとめ「北前船と日和山」からご紹介します。

私はしも町学を始める前は、しも町や日和山に何も思い入れがありませんでした。そこまで愛着があるわけでもないし、しも町や日和山に対する思いは本当に何もありませんでした。でもしも町学を始めてから、しも町や日和山に対する気持ちが変わっていきました。

このしも町を良くするために企画した、しも町提案会議のスライドを考えると、この町について振り返ってみました。この町をよくするために提案することを同じテーマの人と考えてみたら、たくさんの案が出てきて分かりやすくまとめることができました。すばらしいプレゼンができたのですごくうれしかったです。

何よりも「人の温かさ」を僕は感じています。…場所、人、物すべてが自慢できるものです。…日和山は私にとって「自慢できる私のふるさと日和山」だと思い続けていたいです。

この他にも、歴史あるしも町への驚きや発見、地域の皆様への感謝など、どの子ども自分の思いを記しています。

近年、各学校においては地域の特色を取り入れた総合的な学習を教育活動の中核に位置付けています。日和山小では学年の横のつながりとともに「しも町アドベンチャー」のように縦割りのつながりにおいても地域を舞台とした豊かな体験を位置付けています。しも町で豊かな体験を重ねることが、未来を創る子どもたちの原動力となり、しも町をそして世界を持続・発展させるに違いありません。

10年もすれば子どもたちは親元から巣立ちます。未来を託す子どもを育てるということは、自らの力で探究し、自己決定していく姿を見守り導くことでもあります。日和山の大人たちが子どもを信じるとともに、互いにつながり合うことで子どもの毎日を豊かにし、しも町の原風景を彩りあるものにしてきているのです。そんな日和山の絆をうれしく思います。

45年後、しも町は子どもたちにとっての「麗しき原風景」となることでしょう。



# 6年生ありがとう週間・6年生に感謝する会

5学年担任 小野塚 迅人

日和山小学校のために活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを伝えようと、5年生が中心となって計画、準備、実行した「6年生ありがとう週間（2月17日から26日）」、「6年生に感謝する会（2月26日）」が行われました。

「6年生ありがとう週間」では、「6年生お祝い放送」「6年生と遊ぶ会」「6年生へのプレゼント」を行いました。「6年生お祝い放送」では、事前に6年生に6年間の小学校生活に関わるアンケートを取り、その結果をランキング形式で発表したり、6年生へのインタビュー動画を視聴したりしました。また、各学年にも6年生のかっこいいところや助けてもらったことなどのアンケートを取り、お昼の放送で6年生に伝えました。「6年生と遊ぶ会」では、事前に、クローバー班で集まり、5年生が中心となって、6年生と楽しめる遊びを考えました。当日は、どの班も、6年生と楽しく交流しながら遊ぶ様子が見られました。遊んでいる時の6年生は、笑顔であふれていました。「6年生へのプレゼント」では、花のペンダントを作りました。1年生が描いた6年生の似顔絵の周りに、1年生から5年生が書いた花びらのメッセージを貼って、すてきなペンダントが完成しました。6年生は、みんなからのメッセージをじっくりと読み、とてもうれしそうです。



26日（水）には、「6年生に感謝する会」を行いました。6年生に感謝する会を迎えるまでに各学年がたくさん準備をしてくれたおかげで、6年生への感謝の気持ちであふれるすばらしい6感会になりました。1年生は6年生と一緒に入場し6年生をエスコート。2年生は、折り紙で児童玄関を華やかに飾り付けました。3年生は、6年生教室に一人一人の名前入りの飾りで豪華に飾り付けました。4年生は、クローバー班で答える6年生クイズを6年生に感謝する会で行いました。ドレミの歌にのせて作ったクイズはとても盛り上がりました。5年生は、司会進行、オープニングとエンディング、入退場の演出、垂れ幕などを担当しました。どの学年も、6年生に喜んでもらおうと趣向を凝らし、盛り上げました。6年生も、得意なことを発表してくれました。さすが6年生！といった特技の数々で、1～5年生を楽しませてくれました。6年生の発表の後、1～6年生で「僕らまた 日和山 Ver.」を歌い、体育館一杯に響き渡る歌声で、日和山小学校全員の思い出を作りました。最後に6年生から5年生に「どりょく」「せきにん」「なかよし」「あったか言葉」の4つのクローバーが引き継がれ、5年生に託されました。

「6年生ありがとう週間」「6年生に感謝する会」を通して、1～5年生までの子どもたちは、6年生にたくさんの「ありがとう」の気持ちを伝えることができました。6年生は、在校生の思いを知り、日和山小学校での新たな思い出の1ページを増やしました。温かい感謝の気持ちがあふれた「6年生ありがとう週間」「6年生に感謝する会」でした。

